

JA佐渡

<http://www.ja-sado-niigata.or.jp>

2015
2
Vol.259



新鮮空間よらんか舎：手作りバター体験

特集

新春座談会

特別企画

新春座談会

新たな年を迎えるにあたり新春特別企画としてJA佐渡役員と組合員組織代表による新春座談会を開催しました。

「佐渡農業の担い手とこれからについて」をテーマに、それぞれの立場から佐渡農業の現状と、平成27年度の課題について伺いました。主な会話を掲載しています。

●出席者

- | | |
|------|------------------|
| JA役員 | 経営管理委員会会長…高橋 一五 |
| | 代表理事理事長…前田 秋晴 |
| | 常務理事…末武 浩二 |
| 組織代表 | 青年部副委員長…林 良宏 様 |
| | 女性部本部長…本間 春美 様 |
| | とれたて直売部会 |
| | 連絡協議会会長…向田 利一 様 |
| 水稻農家 | 古玉 浩三 様 |
| | 相田 忠明 様 |
| JA職員 | 営農企画課(TAC)…中川 政男 |



自己紹介

司会 本日は、大変ご多忙の中、お集りいただき、ありがとうございます。

まずはご出席の皆様から自己紹介を兼ねて、日々の農業経営や農業活動についてお話しただきたいと思えます。

相田 新穂北方で米作りをしております。5年前に市役所を辞めて農業を継ぎ、一昨年に、法人である「佐渡相田ライスファーム」を立ち上げました。

古玉 2年前千葉から佐渡へUターン

し、赤泊の公社で1年間お世話になり、現在は八幡で無化学農薬、無化学肥料で、キャベツを生産しています。

向田 とれたて直売部会の連絡協議会の代表者ということで、出席をさせて頂きました。JA佐渡を退職して13年になり、現在は赤泊でハウス栽培のゴーヤを作っており、ゴーヤ倶楽部にも入っています。

林 青年部の副委員長林です。稲作を4ヘクタールやっています。青年部では県青連※担当ということで県の会議

に出席させていただいております。その中で全中、全農の方々と話す機会があり、色々な勉強をさせていただいています。

本間 女性部本部長を務めております。以前も新春座談会に出席させて頂いたことがありますが、本日の方が緊張しています。

家は2人で水稻とハウス栽培でトルコギキョウとストックを作り、切花として出荷しています。

平成26年を振り返って

本間 26年度の女性部活動では4月のリーダー研修会、女性部研修旅行、ふれあいアツセまつり、仲間づくりの旅など色々な事業がありました。総じて部員のみなさまが協力して下さったので、大変充実した1年だったと思います。ご協力いただいた皆様に心からありがとうございます。言いたい気持ちです。ただ、年々、女性部員が高齢化や部員数の減少など、これからの女性部にとって大きな課題を感じた1年でもありました。そうした課題を全体で取り組み、女性が元気で生き生きと活動出来る女性部組織になればいいなと考えています。

林 昨年は県青連担当ということで島外へ出ることが多く、県内の若い生産者や、関東方面の生産組織の方々とも触れ合う機会が多くなりました。その中で感じたことは、まだまだ佐渡の



本間 春美さん

若者は消極的で元気がないなど思いました。島外の人は率先して役員となり、自分が前に出て自分の意見を通します。通すためには自分も努力しなければいけないですし、結果を出さないと通らないので目標にまい進しています。

新潟では、雪が降るので難しいですが、関東方面では、田んぼの後作に麦を植えるなど二毛作が当たり前で、水田フル活用をしています。

県内においても、地域を越えた、長岡と新発田の人の交流もあります。佐渡は離島というハンデから島外へ出る機会も少なく、なかなか交流がないですが、交流を通じてどこかの娘さんといっしょになったという青年部員もいるようです。自分たちの仲間内や佐渡の島に閉じこもらず、もっと前に出て行くことをこれから青年部の活動の中でみんなに声掛



林 良宏さん

けしていきたいと思います。お嫁さん探
しに佐渡から出て行って大いに交流して
もらいたいなと思っています。

こうして色々学んだことや交流したこ
とを自分の中に取り込み、青年部員にも
経験を伝えていかないといけないと思っ
ています。

向田 J A 佐渡を退職して13年になり
ます。退職と同時に「とれたて直売部会」
へ入会し、8人でハウス栽培のゴーヤを
作り、そのほとんどを佐渡市場経由で新
潟の大型スーパーや他県へ計画的に出荷
しています。

また、直売では自分で作った品物を自
分で値段をつけて出すという、こんな素
晴らしい事はないなと思っています。

昨年オープンした「新鮮空間よらんか
舎」運営に関して赤泊代表として関わり
を持たせてもらっています。最初は赤泊
から金井まで品物を届けるのは大変なこ
ともあって、新しい直売所は国仲の人が
頑張っって盛り上げてくれればいいんじや
ないかと軽い気持ちで取り組んでいまし
た。でも、いざ開店になって品物を出荷
してみると、赤泊に出荷するのに比べて

売れる量が全く違うので、大きな店舗も
面白いなと思いい、段々とそちらのほうに
力を入れるようになりました。

これから、若い人を1人でも2人でも
入れて、地元も大切だが大きな直売所は
大きいなりに面白いということを伝えな
がら力を入れて頑張らなくてはと感じて
います。

古玉 2年前に佐渡にUターンして来
たばかりで、キャベツ栽培を始めてまだ
1年経ちません。まだよそ者のな目でし
か佐渡の農業の現状を見られないので
が、J A 佐渡は農業団体としては、すご
く守りに入っているなという印象をもっ
ています。

これまでは、米と柿が佐渡農業を引っ
張ってきました。いままでの実績とかブ
ランドを守っていくという姿勢は分かり
ますが、若者や新規就農者が「よし、こ
れでやっていこう！」というような雰
囲気があまり感じられません。

農業が好きで、千葉でキャベツ栽培を
覚えて、佐渡でもキャベツ栽培の経験が
生かせないかなと思っってやっています。
J A 佐渡としても農業をしたいと考えて



向田 利一さん



古玉 浩三さん

いる農家の2代目や、新しく島外から入
ってくる人たちに対して、将来的にこう
すれば食べていけるとか、いっしょにや
って行こうといった姿勢がもつと欲しい
なと思っています。

相田 私の場合は稲作にこだわって、
どうやってたら経営が成り立つかというこ
とに取り組んでいこうと考えています。
色々な方から農業は米作りだけでは厳
しいという話を聞きますが、目指すところ
は生産効率が良く、品質の高い米作り
です。

会社を立ち上げて2年目ですが、今
シーズンの米価の下落はさすがに苦し
いものがありました。しかし、海外での
販売活動への参加や、J A からの指導を
受け経営診断なども経験しながら色々な
方たちと交流しました。接していく中で、
これからも水稲経営だけで暮らしていけ
る可能性はゼロではないと感じています。
まだまだ、課題は多くありますが、よ
り現実味のある経営がどうやったら出来
るか、体と頭を使いながらやっていき
たいと思います。

これからの佐渡農業の担い手について

前田 千葉など、都市近郊の園芸地帯
では農業も企業経営みたいなものなの
で、そこから見れば佐渡は守りに入って
いると見られるかと思っています。

佐渡には佐渡のメリットがあり、その
強みを伸ばしていくことも戦略だと思
います。例えば、トキや自然環境もそう
です。海で囲まれていることによって、
みんながひとつのチームになれる。ま
まりがよいということもある意味強み
です。そうした強みを武器に攻めの農業戦
略もあると思っています。

しかし、地域の農業の現状を見たとき
に島外から入って来た人が、どうやって
生産手段を持つか、どうやって生活手段
を持つか、どのような農業を営んでいく
かなど、これからの佐渡の農業や担い手
についてあらためて総括しなければいけ
ないとも思っています。その面で佐渡は
ちよつとスピードが緩いなど私も思
います。

もう少し佐渡について話しますと、単
位農協としてミルクプラント(佐渡乳業)
や、家畜市場(高千)を持っているのは
佐渡農協だけです。そこには先人達が一
生懸命佐渡の農業作りに取り組んできた
という証があります。これらを守り維持
していくことは大変ですが素地はあるの
で、さらに頑張らねばと思っています。

司会 農業参入し、正組合員加入する
株式会社も出てきました。そうした動き
に対して何かご意見等がありますか。

前田 会社の複合経営として農業に参
入することは大いに結構だと思っています。
佐渡の企業ですので、周りとの関係など



前田理事長

もきちんと出来るかと思っています。国による「農業の成長産業化」という言葉がありますが、意欲のある企業には組合員になって頂いて農協事業を大いに利用いただきながら、多様な担い手の一翼を担っていただきたいと思います。

県内で一番最初にJAファームという農協100%出資の株式会社を作った佐渡農協ですが、自分たちの作った企業は良くて他の企業はだめというような理屈は通らないと思います。

ただ、島外から大企業が落下傘で降りてくるような事態についてまだまだ色々な問題や課題も想定されますので、慎重に検討を要することと考えています。

多様な担い手であるが故に、そこから生まれる色々な可能性から持続可能な農業、産地づくりにつながると思います。これからはそうした多様性から農業分野が伸びていくとも考えています。

相田 私の集落では、「人・農地プラン」というものに取り組んでいます。北方集落では集落営農がないのですが、これは良い集落だなど考えています。みんなで集落営農を立ち上げなくても個々の

農家がまだ頑張れるという意識が現存しているからです。

毎年耕作面積が少なくなる中で私の集落は国仲平野のど真ん中で約100ヘクタールの田んぼを抱えております。私が田んぼにこだわるのは、多額の費用をかけたあの農地を守れないとすれば、これからの水稲経営は成り立たないという思いと、自分の中の守ってみせるという自負にあります。

私がJA佐渡への米の出荷にこだわるのは経済面で一時金や仮渡金が頂けるとや、営農指導や経営指導など多様な協力体制があるということとです。単純にJA佐渡を守りたいという意識もあります。経営を安定させる意味でJA佐渡に頼りお願いすることは多くあり、経営者の判断として当然あるべき姿なのかなと思っています。

企業の農業参入は一農家としては不安な面があります。実際の経験から、企業は田んぼに対する愛情が少ないということも感じています。畑とかハウスだと限られたエリアでの仕事ですが、田んぼは畦ひとつ挟むと隣同士の喧嘩が始まるくらい近隣との関係も大切になります。



相田 忠明さん

「人・農地プラン」では唯一JAファームさんに10年契約で農地の耕作・委託をお願いしています。JAファームさんであれば、地域の田んぼを安心して任せられると思います、話し合いを進めています。JAファームのような存在がなければ、とても目と鼻の先で荒れていく田んぼを守ることは出来ないというのは現実だと思っていますし、水稲経営を効率よくやるためにもすごく助かっています。

これからのことを考えると企業による野菜作りなどはすごく良い事ですし、ハウス栽培なども良いと思います。しかし田んぼに関しては土地への愛情とか、地域・集落との関わりや取り組み方法などが非常に重要になってくると思います。

末武 昨年から生産組合が維持できなくなったところについて(株)テクノ佐渡から手が挙がり、農業参入して頂きました。相田さんの言うように今後、畦草、水管などの問題が出てくる可能性はあると思います。株式会社地域江の掃除や、道普請・草刈りにどれだけ参加して頂けるかなど難しい面があります。また、個人で大規模化を進める農家でも、あちらこちらに圃場が点在していることからそれぞれ地域での活動になかなか参加出来ず、地元と軋轢が生れているという話も聞きますし、地域との意思の疎通に問題を抱えている部分もあるようです。地域の農業を守っていくのが「人・農地プラン」であり、地域の資源を守っていくひとつの方法であると思いますが、いまの後継者・担い手を考えた時に、株式会社など企業の参入がないと、全体の農地や



中川主任

水田などの地域の農業を守っていけないところにまで来ているのだと思います。

担い手について現実問題として、どの程度の面積までやれるか、水稲の場合は機械コストや初期投資が非常に高くなっている現状で、新規に初期投資をどれだけ出来るかということは非常に重要な問題です。例えば、Uターンで帰って来て水稲をやるとすると、コンバイン・トラクター・田植え機・作業場・乾燥機などで2000万円以上必要になります。それだけかけて水田経営に参入できるかと言うと、非常に難しいところがあります。そこを考えるとこれからも建設業者などの企業の参入はあり得るだろうなと思っています。ただ、指摘のあったとおり道普請、江の掃除をはじめ、水田以外の環境整備など地域を守る取り組みに対してどのような形で企業も参加してくれるか、みなさんと議論していかなければいけないテーマだとずっと思っています。

JA佐渡が守りに入っているという話がありました。その問題提起には新規就農者に対しての積極的な取り組み姿勢や、どのようにして関わっていくかとい



末武常務

うことも含まれるのだと思います。今年、営農企画課では新規就農者への取り組みについて立て直しをしていくことを計画しており、TACの活動を中心に平成27年度からパワーアップし実践していきます。TACとしてこれまで関わってきた農家に加えて、新規就農者とかかわり方についてテーマを定めて取り組んでいきます。また、積極的に行政とも協力しながら、農地の集積など、実務面での関わりをもっと積極的に進めていきたいと考えています。どんなに細かい事でもぜひ相談に来て頂きたいと思っています。

司会 昨年、「新鮮空間よらんか舎」がオープンしました。担い手も含めて園芸振興についてこれからの考えをお聞かせください。

向田 冬場はどうしても商品の種類や量の面で厳しいようです。営農担当者も大変だと思うのですが、まだまだ直売部会員をはじめ生産の基礎が出来ていないというのが現状です。冬場に商品を出荷するとなるとほぼハウス栽培しか方法がないのです。小さな規模の人でも管理しやすいハウス栽培で割安な誰でも出来る

ようなシステムは出来ないかと思っております。ハウス栽培はお金になります。面白いですし、比較的費用もかからないので、ハウス栽培が増えたら良いと思っています。手頃なリース事業などみんなに気軽に進められる方法がないかなと考えています。

前田 佐渡においては冬場でも新潟県の他の地域に比べて、直売所における農畜産物の自給率は高いです。魚沼や上越は豪雪地帯ですので、冬場は関東の直売所の協力を得て品物を揃えている状況です。「新鮮空間よらんか舎」の開店をきっかけにあらためて佐渡の生産者のみなさんは、年間を通して多種多様なものを作っていると再発見しています。さらに販売を伸ばしていきたい可能性は大いにあると思っておりますし、これからの佐渡の農業の基幹の一つとして、もっとハウス園芸などには力を入れないといけないと思っております。

「新鮮空間よらんか舎」での売り上げは年間8400万円ほどになると見込んでいますが、最低でも1億円、できれば1億5000万円くらいあれば良いと思っております。年末の売り場を見ましたが、この生産量が落ちる時期に、よくこれだけの商品を維持しているなと思えました。直売所の職員も頑張っていますし、それに生産者も応えてくれているので、大変嬉しく思います。

本問 「新鮮空間よらんか舎」からは、多い時で1日3回メールが来るのですが、担当者からの言葉にその都度思いがこもっていて、その言葉を見ると、私たちも作って良かった。出して良かったといううれしい気持ちになります。

向田 普通のメールなんですけど、担当者の気持ちや思いが込められていて、唸をつむると店の様子が浮かぶようです。

司会 これまでのお話を聞いて最後に会長から一言お願いします。

高橋 企業の農業参入の話などもありましたが、やはり日本や佐渡の農業は家族経営が中心だと思っています。そこにこれからは企業も入ってきます。それらも含めて地域の活性化のためには周年労働をしっかりと作っていかないとダメです。そこには農協としても色んな支援が出来ます。よく農協で色んな経営パターンを作って、試算し示してくれと組合員から要望されますが、試算はあくまで試算です。今日話を聞いて感じたのは、農業は計算だけでは先に進まない。やはり自分が農業やって楽しいと感じること、楽しいって思うことがないと農業は続かないと思います。「新鮮空間よらんか舎」のオープン以来、いろいろな生産者の話を聞くと、生産者の意識が確実に変わってきていると感じます。昨年の8月にオープンし、生産者も初めは疑心暗鬼な部分もあったと思います。しかし、いざ出荷してみるとけっこう売れている。売れるとうれしい、楽しい、そうした気持ちで、さらに生産品目や出荷方法などの工夫にもつながっているように思います。また、話にもあったように冬場の品揃えなど、問題意識や課題がしっかりと共有されてきていることも今後の持続に繋がる事だと思えます。

今年、生産者の方々がさらにいろんなものを作ってくれと思います。それがきっかけとなって産地化し、市場出荷出来るような品目が育てば良いなと思



高橋会長

ます。市場出荷以外でも、新潟のスーパーなどで佐渡のものを売りたいと言う人も多くいます。そういう方々と契約栽培による出荷なども大いに進めていきたいと思っています。

本日はいろいろな立場からご意見など聞かせていただきました。農業・農協にはまだまだ問題や課題が多いですが、そんな中でも確実に未来につながる議論があったと思います。お集まりの皆様はもちろん、組合員の皆様と一緒に、未来に向けて佐渡の農業・農協が1歩も2歩も前に踏み出していける平成27年にしていきたいと考えます。

司会 本日は、お忙しい中、大変ありがとうございました。

※新潟県農協青年連盟（略称・JA新潟県青連）は、県内のJAの青年組織を会員とし、「会員相互の連携を図り、JA青年組織の拡充と活動強化を促進するとともに、JA運動の民主的発展に資すること」を目的に活動している組織です。

平成26年産米総括と 平成27年産米の技術対策について

【平成26年産米の総括】

日本一おいしい佐渡米の実現を目指し、農業者・関係機関が一体となって取り組んでいる「佐渡米未来プロジェクト品質向上90」も2年目となり、展示ほ場101箇所（全ほ場）での「生育調査・現地指導会・稲作情報発信・品質調査」を実施し、確実な基本技術の実践に取り組み品質向上を図りました。



全体の結果については、作況指数98の「やや不良」と収量は平年を下回るものの、品質はコシヒカリ1等米比率89.0%と前年の69.8%を大きく上回り近年にない高い品質を確保しました。

コシヒカリの格落ち理由別では

- ①除く青未熟（ヤセ米） ②斑点米カメムシ ③青未熟粒

の順で多く、近年問題となった胴割粒、乳心白粒による粉状質米は少なくなったものの、カメムシ防除や調整ミスによる人為的理由による品質低下が課題となっています。

台風11号の襲来や8月中旬以降の低温少照など、気象的には恵まれた年ではありませんでしたが、中干しの徹底と水管理により早期倒伏をさせなかったことと、登熟もみ数の抑制により品質向上につながりました。

【平成27年産米の品質向上対策】

日本一おいしい佐渡米の実現には、1等米比率90%以上（“おいしさ”と“みばえ”）の継続が必要不可欠です。

佐渡米未来プロジェクトほ場を活用した情報発信（時期・地域別）・指導会等の継続や更なる品質向上をめざしての色彩選別機の普及拡大・ふるい目1.9mmの導入検討も加え、農業者・関係機関が一体となり、「栽培技術・生産意欲の向上」によって、佐渡米ブランドを確立しましょう。

※平成27年度より「中干し・穂肥・水管理・刈取り」指導会を、すべての展示ほ場で開催いたしますので、是非お近くの会場へご参加ください。



【重点技術対策】

★適正な「茎数・もみ数」確保で「コンパクトな稲づくり」で品質向上！

(1株穂数 ⇒ 23本・㎡もみ数 ⇒ 28,000粒以下)



- 効果：どんな気象条件でも品質のブレが少ない
- 効果：1本1本の茎が太くなり、登熟向上・倒伏軽減に繋がる
- 効果：1粒1粒が大きい米になる

育苗	～田植え日から逆算した計画的作業！！～ ※老化苗防止で足腰の強い太い苗づくり
適期中干しで過剰生育防止	～品質向上の分岐点！適期中干しで生育コントロール～ 過剰生育防止のため、田植え後35日をめどに落水開始！
生育診断に基づく適正な穂肥施用	～穂肥の時期と量は生育で判断～ 穂肥は登熟を良好にし、品質・収量を安定させる重要な作業！
出穂以降の水管理徹底！	～仕上げかん水徹底で登熟向上！～ 湿田では週1回以上、乾田では週2回以上のかん水
総合的な土づくり (ケイ酸資材を中心とした)	ケイ酸は受光態勢を良くし光合成を活発化させる働きがあるため登熟が高まります。
適正な乾燥調製作業の実施	～適正流量での調整による選別の徹底～ (1.85mm未満の混入防止)

本年も佐渡島内水稻栽培ほ場に、佐渡米品質向上を目的とした「稲作情報看板」「栽培概要看板」を田植え以降に設置いたします。

日本一おいしい佐渡米を目指す為、農業者同士が情報を共有できる場として活用ください。

JA佐渡米販売情報

26年産佐渡米販売状況

1月15日現在

コシヒカリ	主食用販売計画 (トン)	販売実績		主食用 契約率 (%)
		数量 (トン)	前年同期比 (%)	
佐渡地区	15,702	5,420	96	84
新潟一般	125,523	34,901	120	66
魚沼地区	21,583	7,002	116	48
岩船地区	13,442	3,928	96	71



販売実績の前年比は若干遅れていますが、主食用としての契約は84%となり県内他産地よりも契約進度は進んでいます。1等米比率が高く品質・食味とも良好であることから販売先からの評価は高く、未契約分についてもその数量以上の需要があがっています。今後販売先を特定し早期に契約となるように努めます。

助け合いで広がる笑顔の輪

JA佐渡助け合い組織「ほほえみ会」の活動

平成9年11月に発足した「ほほえみ会」は、JAの高齢者福祉事業の一環として、高齢化社会に対し地域住民が互いに力を合わせ、助け合い活動を通して豊かな地域づくりを目指しています。

平成26年12月現在で107名の協力会員登録があり、皆が協力してより良い地域づくりのために日々活動しています。

- 主な活動は、
- 家事援助活動（有料）
- 特別介護老人ホームなどでのボランティア活動
- 地域の高齢者を招いて開催するイベント「ほほえみ広場」

などがあります。

※会員の方にはご希望により会報「ほほえみだより」が配布されます。

会員募集

人と人の繋がりを大切に

笑顔の輪を広げよう

助け合い組織活動を通して、仲間と共に「たすけあい」の大切さを学びながら、互いが笑顔になれる活動をしてみませんか？
あなたの参加をお待ちしています。
一緒に楽しく安心して暮らせる地域づくりを進めていきましょー！

★お問合せ

JA佐渡総務部企画課

「ほほえみ会」事務局

27-6161



【老健さどボランティアの様子】



【「ほほえみ広場」健康体操の様子】

新春女性部活動発表会

JA佐渡女性部は1月25日にアミューズメント佐渡を会場に「新春女性部活動発表会（家の光大会）」を開催しました。第16回を迎える今回の大会は、はじめに体験発表として、赤泊支部によるグループ活動のひとつ「かあちゃんそばの活動報告」と語りべ「節分の豆まき」が披露されました。

その後、各支部で取り組んでいる活動内容の発表や、舞踊・レクダンス・演奏等が行われ、会場は大いに盛り上がりました。

また、ホール入口では、部員が丹精込めて作った農産物等の販売や、日頃の活動報告、書道、手芸品などの展示も行い、女性部活動の魅力や仲間づくりの楽しさを多くの来場者の方に感じていただけたイベントとなりました。



舞踊に合わせてみんなで手拍子

JAふれあい 年金プラス

給与振込も
対象です!

JAで年金[※]または給与を
お受取りいただいている方

※年金はご予約を含む。

+

期間中に
30万円以上の3年定期を
新規お預け入れ

お預け入れ時の

スーパー定期貯金

または

大口定期貯金

店頭表示金利に

+0.3%
年

【取扱期間・募集金額】平成27年1月5日（月）～12月30日（水）、県内JA合計500億円

※募集金額に達した場合、取扱期間内でも募集を終了させて頂く場合があります。

【ご利用いただける方】個人の方で、①年金受給者（指定手続き中を含む）、②年金予約者（満50歳以上）、③給与振込口座指定者

【預入期間・預入金額】定型方式3年／自動継続方式（元利金または元金）・30万円以上2,000万円以内（新規お預かり入れに限る）

詳しくは、お近くのJA窓口にお問合せください。



自動車共済カウンターセールス コンクール県大会が開催されました。

平成26年12月6日、ANAクラウンプラザホテルにて、自動車共済カウンターセールスコンクールの新潟県大会が開催されました。

記念すべき第1回大会には県内14JAから予選大会を経て選抜された28名が出場し、JA佐渡からは両津支店から2名が代表として出場しました。

惜しくも入賞は逃しましたが、次大会へ向けての確かな手応えを感じさせる素晴らしい内容でした。

今後もステップアップを目指し、各支店共にお客様へのサービスを第一に考え、より良いJA佐渡を目指して参ります。

出初式で防災意識を再確認

1月11日に、佐和田地区で消防出初式が行われ、佐渡全域から消防職・団員896人、消防車両40台が集結しました。

出初式にはJA佐渡から高橋会長が参席し、雪が降りしきる中での市中行進、一斉放水を実施し、その後、アミューズメント佐渡で式典を行い、火災や災害のない明るい一年となることを願いました。

消防団には農協職員も多く参加し、地域の防災に協力しています。



青果市場の新春初市が開催

青果物の初市式が1月5日に新穂潟上の佐渡広域食品流通センターで開催されました。

新印佐渡中央青果の猪股常務が、「消費拡大はもちろんのこと、佐渡産青果物のブランド強化、拡大に向けて努力します」と新年の抱負をあいさつしました。

式典後には今年初めてのせりが行われ、佐渡産の生しいたげや長ねぎ、みかん、りんご等がせりかけられ、賑わいを見せました。

冬季地域座談会が開催

1月19日から2月6日にかけて、冬季地域座談会を管内の各地区集会所などを会場に開催中です。

水稻情報、園芸畜産振興策をはじめ各部門・グループ会社の経営方針等をJA側から説明し、27年度以降の取り組み方針などについての説明を行いました。

組合員の皆様からいただいた質問等については、後日報告致します。



キャベツ・白菜・ブロッコリー研修会

1月16日、佐和田支店でキャベツ・白菜・ブロッコリー研修会が行われました。

直売部に所属の生産者の皆さんが30人以上集まり、冬季に収穫できる野菜の食味や直売所での販売動向などを確認しました。直売所では手軽な1/2カットや1/4カットより丸々1個の方が売れやすい、白菜は乾燥しやすい葉先の部分だけラップをする、など様々な情報を話し合いました。

1時間ほどの研修の後、真野・四日町の知本さんの圃場に移動して現地研修会を行い、元肥や追肥の実施状況などを確認しました。





手作りバター実演会&即売会を開催

新鮮空間よらんか舎で12月29から30日までの2日間、佐渡乳業の新鮮生クリームを使った手作りバター実演会&即売会を開催しました。

冬休みに入ってお子様連れのお客様も多く、子どもたちは大喜びで生クリームを振ってバター作りを楽しみました。作りたてのバターをパンに塗った試食では、大人も子どももおいしさに頬を緩めていました。

エコプロダクツ2014が開催

12月11から13日までの3日間、エコプロダクツ2014が東京ビッグサイトで開催されました。

ブースに展示されている稲は、消費者との交流会で田植えと稲刈りをした圃場からとれたものを使用しています。多くのお客様と朱鷺の折り紙をしながら、佐渡米の取り組みや朱鷺についてPRを行いました。



✿ はつらつ女性部 ✿ ～小木支部～

私たち小木支部は、稲刈りで忙しくなる前の9月初頭の貴重な1日（9月2日）を利用して、島内研修を行いました。

日頃は近くにあっても、忙しくて見に行く事のできない地元の農家のアスパラガス栽培やハウスでのイチジク栽培を見学させていただきました。

次に羽茂の④おけさ柿の圃地を見学しました。

その後、トルコギキョウ（切花用）など女性部本部長のハウス栽培を見学しました。トルコギキョウの栽培はとてもむずかしいと言っていました。この時期は、トルコギキョウの種とりをやっていて、小木のトルコギキョウを作っている人が、本部長から水管理の方法など聞いて勉強していました。



また、12月の第1日曜日には、小木地区の芸能祭が開催され、日頃、練習してきた舞踊の成果を披露してきました。参加者が少なくなっていく中でJA佐渡女性部の参加を楽しみにしてくれています。「よかったよ」と言われると、又頑張らなくてはと思っています。

新潟厚生連
佐渡総合病院からの

医療のお話

「退院後の生活を支える 社会福祉制度」



医療社会事業士
植草 翔太郎

病気や怪我をきっかけに、これまで過ごされていた生活が大きく変化することが多々あるかと思えます。例えば、退院後に食事の準備や排泄など日常生活において必要不可欠な動作に困難が生じることもしばしばです。

場合によっては介護保険制度を利用して、施設入所を検討される方も多数いらっしゃるかと思えます。しかし、佐渡島内は、施設入所の申し込みを複数同時に行っても、すぐに施設入所を果たすことが難しい現状にあります。理由として、全国水準よりも高い高齢化率が背景にあります。具体的には、施設数に対して入所希望者数が非常に多いことが、施設入所が簡単に行えない理由です。

医療機関に入院し治療を行って

も後遺症や障害を負ってしまい、これまでと同じように日常生活を過ごすことが難しい。早期の施設入所も難しい。

そのような現状の中で、在宅生活に生じる生活上の様々な困難に対して、社会福祉制度の利用が患者様やご家族様の負担軽減となり得るかと思えます。介護保険制度や障害者サービス等の生活を支援してくれる制度や介護手当や特別障害者手当等の金銭給付が受けられる制度など様々な社会福祉制度があります。どのような手続きを踏めば良いのか、どのようなお手伝いをしてもらえるのか等、何かご相談がありましたら、お気軽にお声かけください。

老健便り

「老健さどから定期便」

「利用者様の楽しみ」

老健さどでは各種の催し物があります。普段、利用者の皆さんは、身体や心のリハビリとして、各自の状況に応じてゲームや歩行などの体操、また記憶トレーニングなどを行います。

一方、月に1回の誕生会に合わせて、色々な催しがあり、くつろぎながら、楽しんでいただけるようにしています。誕生会は、プレゼントとお祝いのスピーチです。普通、素敵な笑顔で、これからの抱負が語られ、皆への感謝が述べられ、大拍手です。

老健さどには、佐渡の色々などところから、利用者様への慰安訪問や公演をいただいています。中興保育園様や金井保育園様、平泉保育園様のかわいい園児たちの歌と踊り、また太鼓は、非常に喜ばれ、皆元気が出て、エビス顔になります。

J A佐渡女性部の各支部の方の踊りや歌もよろこばれています。観客席から、声がかかります。

時には、佐渡出身の歌謡歌手、山田実さんが皆さんのためにとミニ歌謡ショウを開催されたことがあり、さすがプロと賛嘆されました。

また犬や猫などのペットとの交流が心を和ませる会もあります。

他、お花見、端午節句、夏祭り、敬老会、ひな祭り、忘年会など結構機会があり、後日改めてご紹介する予定です。

このような楽しい会での、利用者様のご様子を知りたいご家族のご参加を歓迎しています。事務（611111）までご連絡いただければ、計画をお知らせいたします。

（行事係り） 中村、服部



みんなの広場

今月のさわやかさん



金井支店管内（立野）
ごがた さぎ
後賀田 早記さん

炒りたて「佐渡番茶」の
深いあじわいをお楽しみください。

今月の「さわやかさん」は、佐渡番茶の宣伝モデルとして、今後チラシなどに登場していただく後賀田さんです。

Q. 趣味または現在ハマっていることはありますか？
趣味はスノーボードと旅行です。スノーボード歴は8年で、今年は福島のスキー場に遊びに行く予定です。

Q. 休日はどのような過ごし方をしていますか？
食えることが好きなので、新しいお店ができると、よく友達と食事に行きます。数日間の休みが取れたら、国内旅行へ出かけています。

Q. これからチャレンジしてみたいことや目標はありますか？
いままで旅行で行ったことのある県を数えてみたら28県でしたので、目標は、47都道府県制覇です。

Q. 好きな異性のタイプを教えてください。
おもしろくて、笑顔が素敵な人です。

今月の愛撮る



相川支店管内（小田）
やまもと よしこ
山本 芳子さん（82）

「継続は力なり、で作品作り」



山本さんの趣味はパッチワーク作り。家のあちこちを飾るパッチワークは小物から2m四方の物まで大小様々あり、月に一度は気分に合わせて模様替えしています。

独学で学んだので失敗もありますが、最初は小物から始め20年前から大物を手掛ける様になりました。2m四方の作品を作るのに細かい切れ端を2〜3千枚使い2カ月は掛かるので、冬の間の楽しみになっています。

健康の秘訣は継続する事。パッチワーク作りもそうですが、帳簿や日記をつけて、大根の種はいつ植えたなど振り返りますと話していました。



小木支店管内（元小木）
ゆうた
高橋 祐大くん（2歳）
父 朗さん 母 香奈子さん

ちょっとシャイな祐大くんはプラレールが大好き!お父さんと一緒に並べた線路に電車を走らせてゴキゲンです♪
ご両親からのメッセージ「思いやりのあるやさしい大人になってね。」

お知らせ



入園者募集について

J A 佐渡では野菜等の栽培を通じて農業に対する理解を深めていただくため、市民農園として畑の貸し出しをしています。自分で育てた野菜を召し上がってみませんか。

募集区画 8区画（1区画33㎡ 約10坪）
 入園期間 平成27年3月1日～平成28年2月末日まで
 入園料 5,000円／1区画
 その他 水道設備と小屋が有ります
 場所 J A 佐渡本店裏（原黒）



★お問合せはこちら★

● J A 佐渡両津営農農機課 ☎27-7111

おけさ柿と佐渡牛乳を使ったランチパック登場!

山崎製パンでは2月1日より、佐渡産おけさ柿と佐渡牛乳入りチーズクリームを使ったランチパックを新潟県内で販売します。ぜひご賞味ください。



2015 住宅建材 総合展示即売会

お買得品が **満載** です!

日時：2月14日(土) 15日(日)
9:00～17:00

場所：(株)コープ佐渡建材センター
佐渡市吾湯152-1

ご来店お待ちしております。

平成27年度佐渡米生産者大会を開催

一等米比率90%以上の継続を目指し、佐渡米のブランド力向上に取り組むための生産者大会を開催します。

日時：3月7日(土) 9:30～
場所：両津文化会館

臨時総代会のご案内

臨時総代会を下記のとおり開催します。

日時：3月7日(土) 13:30～
場所：両津文化会館

議案

- 第1号 組織事業に関する見直しについて
- 第2号 おけさ柿協同中央選果場選果機の更新について

支店別総代懇談会のご案内

各支店を会場に総代懇談会を開催します。総代・支店運営委員の皆様から経営・事業に対するご意見・ご要望を伺います。

懇談会開催日程

会場	開催日	開催時間
相川支店	2月17日(火)	18:00～20:00
佐和田支店	2月14日(土)	18:00～20:00
金井支店	2月16日(月)	18:00～20:00
新穂支店	2月14日(土)	13:30～15:30
畑野支店	2月18日(水)	18:00～20:00
真野支店	2月19日(木)	18:00～20:00
小木支店	2月20日(金)	18:00～20:00
赤泊支店	2月21日(土)	13:30～15:30
両津支店	2月21日(土)	18:00～20:00

よらんか舎

2月のオススメ情報

今月の野菜：
さつまいも



さつまいもは、獲れたてよりも、ゆっくり熟成させた方がより旨味や甘みが増すとされています。

さつまいもには加熱しても壊れにくいビタミンCが含まれています。さつまいもは1度にたくさん食べられるので効率よくビタミンCを摂取出来ます。切った時に出る白い乳液はヤラビンという成分で、食物繊維との相乗効果で便通をよくします。ヤラビンは便をやわらかくする効果があり、さらに加熱されてもその成分を失う事がないので、焼き芋にしても煮物にしてもしっかりと力を発揮してくれます。また、カリウムも豊富で、体内の塩分バランスを調整して高血圧に効果があります。

品種紹介

紅あずま

紅あずまは関東で人気の品種です。蒸したり焼くとホクホクとネットリの中間タイプのさつまいもです。

焼き芋にした時は果肉の色が黄色く甘味もあり、人気があることが領けます。

紅はるか

2010年3月に品種登録された新しい品種です。その特徴は外觀が優れ、しかも蒸し芋にした時の糖度が高く、とても美味しい食味です。食べてみると強い甘さにもかかわらず後口はすっきりとした上品な甘さを感じさせます。加熱するとしっとりとした食感になり、焼いた時の甘さはあの安納芋とも比較されるほどで、非常に甘く美味しい焼き芋の資質をそなえています。

イベント情報

2月11日(水・祝)に新鮮空間よらんか舎店内で、あたたかい汁物サービスを予定しています。長ねぎ・白菜・大根などの冬の野菜をたっぷり煮込みますのでお楽しみに♪
詳しくは店頭告知または新鮮空間よらんか舎ホームページ告知で確認をお願いします。

12月末 J A の概況

組合員数	16,144人
(内正組合員数)	(8,909人)
(内准組合員数)	(7,235人)
貯金	1,139億7,156万円
貸出金	178億4,988万円
共済保有高(保障)	4,421億4,007万円
購買品供給高	41億6,519万円
販売品販売高	44億1,272万円

- ① 12月19日開催の主な協議事項
- ② 3四半期について
- ③ N I S A 制度改正に伴う投資信託の規程の一部変更について

理事会だより

- ④ 一組合員に対する信用の供与等の最高限度額の決定について
- ⑤ 組合員以外の者一人に対する信用の最高限度額の決定について
- ⑥ 理事との契約について
- ⑦ 佐和田支店管内遊休土地等の処分について

経営管理委員会だより

- ① 12月25日開催の主な協議事項
- ② 平成27年度事業計画基本方針について
- ③ 臨時総代会の開催について
- ④ 組織・事業に関する見直しについて

☆☆☆ 今月のAコープの日 >> 2月20日(金)～21日(土) ポイント2倍! ☆☆☆

***** 毎週火曜日：ポイント2倍 毎月第2日曜日：レジ袋持参で5ポイント 毎月第3日曜日：5% OFFの日 *****

挑戦!!

クロスワード

タテのカギ

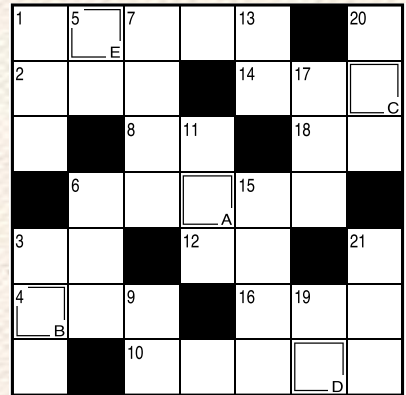
- ① 最低気温が0度未満の日
- ② 武士の命ともいわれた刃物
- ③ 応用に移る前にしっかりと
- ④ 全身真っ黒な鳥
- ⑤ 中央競馬を監督するのは——水産省
- ⑥ 西を向いたときの右手の方向
- ⑦ ペコりとへこんだ所
- ⑧ ホルスタイン、ジャージーといえは
- ⑨ 趣味と——を兼ねた仕事
- ⑩ 応接室に似合う長いす
- ⑪ けがが完全に——した
- ⑫ タイヤに穴が開いちゃった
- ⑬ 大金持ちのこと アラブの大——

ヨコのカギ

- ① 早春に顔を出すフキの花茎
- ② 車などで人や物を運ぶこと
- ③ ピスタチオを食べるときむきます
- ④ 駅伝の選手がつかなくもの
- ⑤ 東南アジアの国 首都はプノンペン
- ⑥ 地球表面のおよそ3割を占めます
- ⑦ ピンポンともいうスポーツ
- ⑧ 花を回ってチョウが吸う物
- ⑨ 子芋がたくさん付くことから、サトイモは—— 繁栄の縁起物です
- ⑩ 旧国名の一つ こと佐渡が現在の新潟県です
- ⑪ 鬼は外、——は内

【解き方】

クロスワードを解いてA～Eの二重ワクの文字を並べると、一つの言葉がでます。それが答えです。

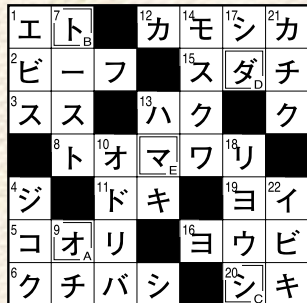


1月号の答え

ABCDE
オトシダマ

1月号の当選者

田中 徳さん
齊藤 典子さん
小玉ミハギさん
本間砂代子さん
風間 京子さん

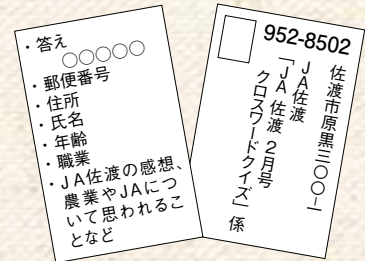


【締め切り2月19日(木)必着】

※正解者の中から抽選で5名の方にJA商品券を差し上げます。当選発表は3月号誌面。

皆様にご記入いただいた個人情報につきましては、当広報誌に利用する以外使用いたしません。

応募方法



エコープマーク 推奨品

エコープ 国産小麦粉使用 冷凍うどん

☆規 格 200g×5 1袋
☆特典価格(税抜) **265円**
通常価格379円(税抜)



下記のクーポン券を切り取って、お近くのAコープ店にご持参ください。対象商品の特典価格にてご提供いたします。



エコープ推奨品クーポン券



エコープ 国産小麦粉使用冷凍うどん
200g×5 1袋 **265円** (税抜)
通常価格379円(税抜)

ご利用期間 平成27年2月1日～28日
※クーポン券1枚で1品限りお求めいただけます。

Aコープの得する情報

貯まったポイントはお得なときに使おう! /

お買物券利用して得するキャンペーン

実施期間 平成27年2月4日(水)～2月10日(火)

お買物券を
エコープで
使うとレジにて

5%引!

日頃の感謝をこめて、上記の期間中にエコープでお買物券を利用していただくと、お会計金額が5%引きになるキャンペーンを実施中です!

是非お得なこの機会をご利用ください。

エコープ店内の専用端末より、ポイントをお買物券に交換できます。

【実施店舗】

高千店・金井店・新穂店・畑野店・小木店・赤泊店・加茂店

※佐渡市指定ごみ袋・たばこ・商品券類・テレフォンカードなど、一部商品に割引対象外品がございますので、予めご了承ください。

食ペて み〜っちや



女性部
佐和田支部のみなさん



野菜入り米粉だんごのとろとろスープ&
長いもの米粉蒸しパン&
柿ドレッシングのサラダ

材 料

野菜入り米粉だんごのとろとろスープ(4人分)

野菜入り米粉だんご

かぼちゃ	170g
長いも	190g
八幡いも	190g
さどっ粉(米粉ミックス粉)	170g

スープ

ごぼう	150g
人参	100g
えのき	70g
長ねぎ	適量
のり	少々
だし汁(Aコープめんつゆ)	適量

長いもの米粉蒸しパン(5個分)

さどっ粉(米粉ミックス粉)	160g
長いも	200g
砂糖	120g
ベーキングパウダー	小さじ2
水	大さじ4
サラダ油	適量

柿ドレッシングのサラダ(2人分)

柿(中)	1個
酢	大さじ1
好きな野菜	適量

作り方

野菜入り米粉だんごのとろとろスープ

1. かぼちゃ、長いも、八幡いもをサイコロ状に大きさを揃えて切り、蒸し器で蒸かす。
柔らかくなったら別々に取り分けてつぶす。
2. かぼちゃに米粉60g、長いもに米粉40g、八幡いもに米粉70gを混ぜ、耳たぶくらいの固さになる様にこねる。
3. ごぼう、人参、えのきを切って鍋に入れ、適量の水とだし汁を入れて火にかける。
鍋が煮立ったら2. を親指くらいの大きさになる様にスプーンですくい入れ、火が通って浮き上がったらかんだネギを入れる。
4. 器に盛り付け、のりで飾る。

長いもの米粉蒸しパン

1. 長いもは皮を剥いて適当な大きさに切る。
2. 1. と砂糖、水を入れてミキサーにかける。
3. ボールに米粉とベーキングパウダーを入れて軽く混ぜ、2. を混ぜ合わせる。
4. 茶碗の内側にサラダ油を薄く塗り、3. を茶碗の7分目くらいまで入れる。
5. 4. を蒸気の上った蒸し器に入れて15分程度蒸す。
6. 竹串を刺して中まで蒸し上がったか確認する。
取り出した茶碗をしばらく置き、あら熱がとれたら中を取り出す。

柿ドレッシングのサラダ

1. 熟した柿の皮を剥き、スプーンでつぶす。
2. 1. に酢を混ぜ合わせてドレッシングにする。
3. サラダ用の生野菜に2. をかけ、お好みでみかんなどの果物を添える。

ワンポイント

- ・米粉だんごを作る時は、米粉を少しずつ入れてこねるとまとまりやすい。
- ・柿ドレッシングはパンにジャム代わりに付けても美味しいです。

家の光図書 新刊

お求めはお近くの JA 支店窓口へ

楽しい JA 女性組織

あなたと仲間がきらめく 25 の言葉



・農業や JA の現場で必要不可欠な女性の力。JA 女性組織メンバーを増やし、活性化するためには何が必要か? 長年活動を見守り続けてきた著者が贈る 25 の言葉が「チャレンジする」女性と仲間を応援します。

・大金義昭 著
・定価(税込) 1,080 円

土がよくなりおいしく育つ 不耕栽培のすすめ



・畑は一生懸命耕すもの—そんな常識を覆す“耕さない”野菜づくり。農業や化学肥料を使わず、自然の力を最大限に活かすので野菜の品質もアップ。耕さないことで土が作られるメカニズムをわかりやすく解説。

・涌井義郎 著
・定価(税込) 1,512 円

心地よい和の家

築 100 年でも快適に住まう改築と間取り



・障子越しに差すやわらかい光やぬくもりのある梁、どこか懐かしい畳の香り—日本人の五感をくすぐり、安心とくつろぎの空間をもたらす和の住まいをあなたに。間取りや改築のポイントが美しい写真でわかる。

・家の光協会 著
・定価(税込) 1,620 円

わたしのとおきワインのつまみ



・小皿で楽しむバル風つまみやピストロ風ボリュームつまみ、和のつまみやごはんものまで、人気料理家 6 人の個性が光る、とっておきの「ワインに合う」レシピ。ワインと料理の相性など、ワインの知識もわかる。

・藤井恵 / 堤人美 / 高橋雅子 / サルボ恭子 著
・定価(税込) 1,404 円

